



目次

校歌		4
テーマ「伝えよう いにしへの心 あたらしき智慧」		5
ごあいさつ		6
目次		7
特集 伝えよう いにしへの心 あたらしき智慧		
<hr/>		
古き時代を思い出して	辻 信太郎	8
伝えよう いにしへの心 あたらしき智慧	上原 勇七	10
最先端技術も原理は写真から	原 護	12
心身練磨に努めた日々、今も目に胸に	中村 和男	13
伝えることは面白く、また難しい	筒井 真理子	14
古人（いにしえびと）に導かれ	山下 一恵	16
<hr/>		
ふるさと甲府情報		18
一紅会講演会「日本の将来を考えたい」	井上 栄	20
一紅会の未来にエールを！！	飯田 富美子	21
甲府一高この一年		22
在校生 私の夢		24
強行遠足 P T A 同行記		25
100字近況		26
広告目次		28
イベント奏者・表紙作者紹介		54
幹事のつぶやき		55
幹事名簿・編集後記		56

「日新鐘」に寄せて



東京同窓会会長
井上 幸彦
(昭和31年卒)

昨年の「三・一一東日本大震災」は、わが国社会のあらゆる分野に深刻な打撃を与えた。そんな中で、被災し、厳しい環境下で避難所生活を強いられた東北の皆さんが、礼節を守り、健気に、逞しく、明るく振舞っておられる姿は、世界の人々に「日本人というのは何なんだ」、「こんな過酷な状況下でどうしてあ、した態度が取れるんだ」と深い感動を与え、日本人の資質に改めて感嘆の声をあげさせることとなった。又、東北の皆さんは、震災を通じて、家族、学校、職場、地域社会の「絆」に支えられて生きていくとの思いを強く感じたことであろう。

この震災により昨年の東京同窓会も予定どおり開催できるのか、との危惧の念もあったが、日本全体が、できるだけ早く日常の生活に立ち戻る事が、東北の復旧、復興にも連なるとの思いから予定通り実施し、会場には募金箱を置き、多くの方々から義捐金の協力を戴いたことは意義深いことであった。さて、今年の同窓会のテーマは、「伝えよう いにしへの心 あたらしき智慧」ということだ。この同窓会の場合、学び舎を共にしたという「絆」を改めて確認し、それを強め、「温故知新」を実践する機会なることを切に望む次第である。

「ごあいさつ」



甲府第一高等学校校長
奥田 正直

平成二十四年度 甲府中学・甲府第一高等学校 東京同窓会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。また、東京同窓会の皆様には、日頃より本校発展のために多大なる御支援、御協力をいただき心より感謝申し上げます。

特に、昨年度は「同窓会奨学金」への寄付も賜り、生徒の学業、文化及びスポーツ活動への大きな支えとなっており、重ねて、御礼申し上げます。

さて、昨年度の母校の状況について簡単に報告しますと、進路面では、全県一学区三期生も大きな成果をあげ、特に国立大学合格者は百名と飛躍を遂げました。また、部活動でも、全国大会や関東大会へ出場し、中でもアーチェリー部は、関東で悲願の初優勝を果たし、テニス部もインターハイ出場後、日新基金を活用して「がんばろう日本、テニス部プロジェクト」と銘打って、新聞部や生徒自治会とともに東日本大震災の復興支援として、南三陸町や福島でボランティア活動を行ってまいりました。

今後、生徒の多様な可能性を伸ばす教育を推し進め、「文化の香りがする懐の深い進学校」を目指して、教職員一同努力して参ります。

東京同窓会の皆様には、変わらぬ御支援、御協力をお願いするとともに、益々の御発展と御健勝を祈念いたします。

「伝えよう いにしへの心 あたらしき智慧」



平成24年度幹事長
清水 喜彦
(昭和49年卒)

本日もご出席頂いた同窓生の皆様、また不安定、不透明な経済環境にも係わらず「日新鐘」に広告を出稿頂きました皆様、物心両面から第五十三回東京同窓会を支えて頂きました全ての皆様に当幹事一同心から感謝を申し上げます。

本年度のテーマは「伝えよう いにしへの心 あたらしき智慧」と致しました。このテーマは、甲府中学、甲府一高の良き伝統を次の世代に伝えることは勿論、単に伝えるだけではなく、それに新しい智慧をプラスして残して行きたい、正に「日々新た、また日々新た」とは、そういう事ではないか。震災から立ち直る強い日本はそう有るべきと言う幹事の強い思いを込めて頂きました。

昨年のテーマ「いや高く つないだ心 天までとどけ」を引継ぎ、甲府中学、甲府一高の良き伝統を次の世代に「より素晴らしいもの」として伝えて行きたいと思っております。

懇親会では伝統と新しさ、洋の東西の融合を目指して同級生（昭和四十九年卒）の山下一恵さんのお琴と相川達也君のギター及びマンドリンの素晴らしい演奏を楽しんで頂けたらと思います。

本日はどうぞ最後まで同級生や先輩後輩と昔を思い出し、明日に思いを馳せて楽しい一刻をお過ごし下さい。